



経験
プラス
刷新力

充実!! 石川の「福祉」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

ひもの 義昭

よしあき

2022年
若葉号
ひもの通信

プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在66歳。
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、県立金沢泉丘高校に学ぶ。早稲田大学政経学部を卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、政治と地方議員の役割を学ぶ。「青年の政治参加」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に最年少記録27歳での初当選。平成3年石川県議会議員に初当選以来、連続8期。
家族は妻と父親の3人家族。(長男、次男夫婦独立)
平成20年、第89代石川県議会議員に就任。これまでに、議会運営委員会委員長、県監査委員、現在は日韓友好促進議員連盟会長、自民党では石川県連副会長、これまでに幹事長、総務会長、政調会長、青年局長などを務める。

- 現在のおもな役職
- 石川県体育協会理事
 - 石川県行政書士会顧問
 - 日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
 - 石川県社交料飲生活衛生同業組合顧問
 - 自衛隊金沢駐屯地協力会副会長(事務局長)
 - 私学振興議員懇話会事務局長
 - いしかわ観光振興議員懇話会 会長
 - 石川県テニス協会顧問
 - 金沢日曜野球連盟顧問
 - 石川県フォークダンス連盟顧問
 - 平和町連合町会相談役
 - 石川県造園緑化建設協会顧問



ひもの義昭 後援会事務所
〒921-8116 金沢市泉野出町2丁目7-18
☎076-241-7744
[FAX] 076-241-4764 info@himonoyoshiaki.jp
https://www.facebook.com/himonoyoshiaki
ホームページはコチラから ひもの義昭 | 検索

住んで良かった、これからも住み続けたい
「石川・金沢」の実現に向けて

経験と刷新力 全力で取り組みます!



予算委員会の質問席にて

先の県知事選挙においては、「継承と発展」を訴えた馳浩さんが当選しました。大変厳しい戦いでしたが、皆様方のご理解に心より感謝申し上げます。新知事には、まず石川県だけが行ってない定例記者会見を開催して、**新幹線大阪延伸を始め、能登振興、北陸3県連携、女性活躍推進、知事公舎開放、日銀・都ホテル跡地などの課題解決に持ち前の発信力と中央とのパイプを駆使しての施策展開を期待**しています。
私も、新知事との連携のもと、県政発展に貢献できるよう、これからも一所懸命に努力することを約束して、ご挨拶いたします。

石川県議会議員
ひもの義昭

昨日より今日、 今日より明日!

みなさんの声を県政へ届けます!!

令和3年当初議会での一般質問

1.福祉の充実

- ★金沢市内の新しい交通ネットワークの構築と高齢者、障害者にやさしい街づくりを推進
- ★学童保育、結婚支援など総合的な子育て支援、少子化対策の充実
- ★難病患者支援や障害者の雇用促進などやさしい社会体制づくりを推進
- ★発達障害者(児)の支援策充実・拡大
- ★子どもの貧困対策の強化



2.スポーツ・教育・国際交流の充実

- ★スポーツの振興や競技力向上、武道館建設などの施設整備を推進
- ★気軽にパラスポーツや高齢者がスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- ★建学の精神を尊重した私立幼稚園・学校、専修各種学校への支援策の充実
- ★栄養教諭、職員の活用による「地産地消」「食育」の充実
- ★公立夜間中学の設置
- ★海外から多くの方に来ていただく施策展開



3.安心・安全・医療の充実

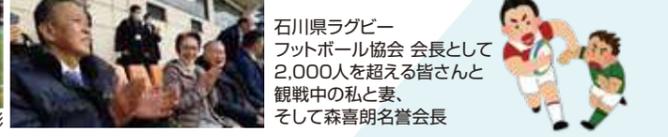
- ★新型コロナウイルスなど感染症対策の充実
- ★国民病であるガン予防対策の充実
- ★かかりつけ薬局による県民の健康保持施策の充実
- ★タバコの煙から子どもや高齢者を守る施策の充実
- ★県内すみずみまでの地域コミュニティの強化
- ★子どもや障害者への医療費の助成制度の拡大
- ★摂食障害への相談・支援体制
- ★能登をはじめとする医師不足対策の推進



県ラグビー協会設立70周年記念試合(3月20日)において参加した全早稲田大、全石川の選手達と記念撮影



全早稲田大チームキャプテンから早稲田カラーの記念ジャージーが贈られました



石川県ラグビーフットボール協会 会長として2,000人を超える皆さんと観戦中の私と妻、そして森喜朗名誉会長



石川県障害者スポーツ協会 会長として功労者の皆さんと共に表彰式に出席

友の会 行事

ボーリング大会 昨年11月23日マンボウ金沢で開催

コロナ対策に十分に注意を払って、開催しました。

恒例の大会に沢山の方に参加いただきました

予告 第35回 映画会

7月2日(土)
県立美術館ホールで開催。会費:500円
今回は「種まく旅人」(金沢が舞台・2021年:主演・栗山千明他)

新知事に馳氏!!

石川県知事選挙は3月13日に投開票され、保守系有力候補を始め新人5人による混戦を、国会議員26年間の経験、実績や国とのパイプの太さなどをアピールした馳浩・元文部科学大臣が勝利した。保守分裂、大接戦を制した28年ぶりの知事交代により石川県政は転換期を迎えた。



大激戦の中、日をまたいで感謝の勝利の万歳(馳氏の右はお母さん、小森貴後援会 会長)



早朝から河野太郎代議士(左端)を迎えて「ラジオ体操の会」でご挨拶



西茶屋街での街頭演説会において、はせ候補、小森代議士らと



約400人が結集して勝利に向けて頑張ろう!



街頭遊説のあと「桜桃」に立ち寄った小泉進次郎代議士と

これまで県議会議員として8期31年間、過去最多の100回以上質問に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めました。これからも変わらず皆様の声を伝えていきます。

令和4年2月定例議会
予算委員会 令和4年2月15日
わずか20軒の金沢市・内川出身の
小山陽平選手が、北京冬季五輪
アルペン回転競技に出場。健闘!



関係者と共に馳新知事を表敬

安全を目指す障害者施策

自治体における障害者向け水害ハザードマップの作成を進めよ。
◎土木部長 国の交付金など、必要な情報を提供して市町の取組を支援したい。

障害者雇用について

定着率の向上を目指すサポート体制が必要では。
◎商工労働部長 県内3カ所の障害者就業・生活支援センターで相談対応をさらに進めていく。

重度の障害者の皆さんが取り残されているのでは。



◎商工労働部長 支援制度の周知や障害者雇用支援アドバイザーの助言を積極的に行う。

県のホームページ等で重度障害者を雇用する事業者の情報提供を行うべき。

新県立図書館について

身体、知的、視覚、聴覚、精神などに障害がある皆さんへの配慮があるべき。

◎谷本知事 文章の児童読み上げ機や筆談用タブレット、司書による朗読サービスなどを留意し、誰もが楽しめるよう工夫を凝らす。

幅広い皆さんに利用していただき、県民の誇りとなる図書館を期待。

障害者スポーツについて

東京オリ・パラ開催の成果を二週性にはならない。
◎谷本知事 関係団体と連携して、裾野の拡大、競技力の向上に向け充実強化を進める。
障害者競技の普及、競技力向上策や事務局への支援では全国より劣る。

令和3年12月定例議会

一般質問 令和3年12月10日

農林水産業を守る 6次化支援は喫緊の課題!!

本会議場での質問は今回で110回目となりましたが、議会前に知事が引退表明をしたせいか、全体的に執行部に対する議員からの意見は控えめで、突っ込み不足と感じました。また、準通年型の新年度予算とはいえ、相変わらず執行部の皆さんは知事の顔色ばかり見ており、踏み込みが足りないとの印象を受けました。以下は主なものです。

財政問題について

新年度における公共事業の在り方は。

◎知事 決して無駄ではなく、県民の安全・安心、人やものの交流により地域に活力をもたらすし、地域経済の下支え、雇用の確保の面で重要な役割を果たすと考える。コロナ禍のもと、経済正常化との両立を目指すためにも、今こそ望まれるのは公共事業の拡大です。

先の衆議院議員選挙について

政権獲得時の立憲民主党と共産党との「限定的閣外協力」についての所見は。
◎知事 国民やその政党の支持組織に戸惑いや懸念の声が広がったと考えている。

投票率向上対策について

期日前投票での投票に行けない理由の申告など、時代にそぐわない要件がなくなるよう、全国知事会を通じて国に働きかけよ。
投票率向上には時代にあった新たな方法が必要。
◎選管委員長 投票率が低い若年層をターゲットに動画サイト、SNSへの広告掲載を行う。
バス巡行による移動期日前投票所など、投票促進に有効な手段をもっと考えるべき。

市町を越えて、有権者が投票できる共通投票所の設置を検討せよ。

◎選挙管理委員会委員長 全国的には設置事例が増加しており、市町選管に環境整備を働きかける。

新幹線開業後の

1Rいしかわ鉄道の運営について

特急が走らない小松以西の複線は過剰設備であり、単線に切り替えてはどうか。
◎企画調整部長 複線の維持を前提に、安定的な経営の確保に向けた検討を進めている。必ずしも維持管理経費が半分になるものでなく、全国的にも事例がない。

1Rいしかわ鉄道の存続のためには、無駄なコスト削減、赤字幅の減少を図るべき。

沿線市町と連携し二次交通を整備して、利便性向上を図るべき。

◎企画調整部長 各市町に設置されている地域交通に関する協議会を通じて検討を進める。
ターミナル駅である金沢駅、小松駅以外では、二次交通は十分整備されていない。フィーダーバス、オンデマンドバスを早期に整備すべき。

摂食障害支援について

県内の患者数と支援についての考え方を聞く。
◎健康福祉部長 2017年度で約2400人。国が進める「摂食障害支援拠点病院」の指定について、関係機関の意見を聞いて検討を進める。
金沢大学病院での摂食障害治療支援センターの設置に対して最大限の財政支援を。

調理師の活躍について

全国に先駆けて、県条例で調理師の設置を義務とすれば、石川の両、食のレベルはさらなる向上が期待される。
ふぐ処理資格者を対象とした講習会への講師派遣、食中毒事故が発生しないためにも、免許保持者への継続的な教育が必要。

農林水産業の6次化支援について

国の補助を受けることができる事業計画の認定状況は。
◎農林水産部長 11月末時点で全国2600軒、県内では28件が認定された。



不漁、原油高、食料の安全確保を考えると、6次化なしに、日本の第1次、2次産業はいずれ成り立たなくなる。県の積極的な対応が急がれる。